

令和元年度 帯広地区情報

事務局 帯広市立若葉小学校

帯広市小学校長会は、市内 26 校の会員で組織されている。今年度は、転入3名、採用2名の新会員を迎え、4月9日に総会を開催し、新たな教育に向け学校間の連携を大切に前進する校長会として、活動を進めている。



【帯広氷祭りで披露される氷のお面】

I 本年度基本方針

帯広市小学校長会は、結成以来、帯広市の小学校教育の充実・発展のため、たゆまない研鑽とその実践を積み重ねてきたところである。

今日、社会が激しく変化し、人工知能の飛躍的進化や社会のグローバル化、ICT化が一層進む中で、将来の予測が難しい時代を迎えている。そのような先の見通せない困難な時代にあって、子どもたちが高い志や意欲をもつ自立した一人の人格として育つために、多様性を基調とした第2期教育基本計画の「自立」「協働」「創造」の方向を継承した第3期教育基本計画において、個人と社会がともにめざすべき方向が示された。

このような中、学校は新しい学習指導要領の全面実施を翌年に控え、移行措置の最終年度として、「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的な深い学び」の理念を実現するための着実な準備が求められている。

同時に、子どもたちに対し、効果的な教育活動を持続させるために、教職員自らの専門性や人間性を高めるため、北海道アクションプランが示されるなど、具体的な働き方の改革が求められている。校長は、新たな時代の風をよみ、変革を恐れず、明確なビジョンをもって、家庭・地域・行政との連携を密にし、自校の課題と向き合う強いリーダーシップで、創意ある取組を推進しなければならない。

そのために、帯広市小学校長会は、志を高

く掲げ、研鑽に励み、校長同士が互いに切磋琢磨することで力量を高め、学校経営に全力を傾注し、本市教育の使命と責任の重要性を一層自覚するとともに、帯広市教育基本計画の理念及び平成31年度教育行政執行方針に則り、市民の負託と信頼に応える小学校教育の推進を期する。

なお、帯広市小学校長会は、帯広市校長会および北海道小学校長会の活動方針及び活動内容を基本に据えて運営する。

II 活動の重点

- 1 校長の指導性を発揮し、教職員の法令遵守・服務規律保持の徹底に努める。
- 2 校長がリーダーシップを発揮し、学校経営の正常化と学校組織の活性化に努める。
- 3 校長自らがその責務を自覚し研鑽に励むとともに、指導性を発揮して教職員の意識改革、資質・能力の向上を図る。
- 4 開かれた学校を一層推進し、市民から信頼される学校づくりに努める。
- 5 新学習指導要領の全面実施に対応する教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
- 6 帯広市独自の「エリア・ファミリー構想」や「こども学校応援地域基金プロジェクト」に基づく幼保小中及び地域との一層の連携を図り 情報交流と危機管理の徹底に努める。
- 7 町内会や関係機関と連携し、地域ぐるみで安全安心な学校づくりに努める。

- 8 本道・本市の教育をめぐる教育諸条件を把握し、その改善充実に努める。
- 9 持続的な教育活動を実現する教職員の働き方改革を推進する。

Ⅲ 各部の活動方針

1 研修部

今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するため、校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(1) 職能向上に関する研究委員会の推進

教育の動向を捉え、課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求し、その内容を広く交流・発信していく。

①学校経営委員会

- ・学校経営ビジョンの策定と実現
- ・校長のリーダーシップと校内組織の活性化
- ・学校評価・人事評価をツールとした組織マネジメントの改善
- ・教職員の服務，規律保持
- ・ミドルリーダーの育成や次代の学校経営を担う人材育成（現職セミナーの実施）

②教育課程委員会

- ・生きる力を育成する教育課程の改善
- ・確かな学力の定着向上を図る教育課程
- ・道徳教育や健康教育の充実をめざす教育課程
- ・望ましい食習慣の形成を目的とした食育の充実をめざす教育課程

③危機管理委員会

- ・安全安心な教育環境と安全，防災教育の推進
- ・子どもの健全育成
- ・いじめや不登校を生まない学校づくりの推進
- ・危機管理に強い組織づくりの意図的，計画的な推進
- ・不当要求への対応
- ・個人情報の保護や情報公開への対応

④教育課題委員会

- ・勤労観，職業観を生むキャリア教育
- ・一人一人のニーズに応じた自立や社会参加の実現に向けた特別支援教育
- ・持続可能な社会を目指した環境教育
- ・家庭，地域との連携による教育活動
- ・異校種間の学びの連続性の研究

(2) 学校経営基礎研究

採用校長及び転入校長を対象に学校経営について交流・研修を行う。

(3) 各種研究大会の参加に係わる業務

- ・第71回 全連小秋田大会
- ・第62回 道小教育研究胆振・苫小牧大会

(4) 学校経営研究協議会

(5) 研究紀要「教育新潮」発行

2 事務部

「情報」「対策」「経営」の業務を創造的・効率的に行い，課題解決に資する。

(1) 経営担当

- ・法制に関する研究
- ・十勝・帯広地区の教育経営・法制研究会の企画運営

(2) 対策担当

- ・教育条件整備に関する調査・分析・要請活動（道小と連携を図る。）

(3) 情報担当

- ・小中合同の広報活動と「校長交流」発行
- ・道小からの原稿依頼に関する業務

3 厚生部

本会会員の福利厚生及び会員相互の親睦を目的に中学校長会と企画運営に当たる。

4 役員会

会員の意見や課題を的確に把握し，事前に対応を協議し，具体的な方策を打ち出す等，円滑な推進に努める。

Ⅳ 役員

会 長	杉本 伸子	(明星小)
副 会 長	大島 健	(広陽小)
事務局 長	早川 一之	(若葉小)
事務部 長	鈴木 義秋	(柏 小)

研修部長	澤田	靖	(緑丘小)
会 計	上坂	寛	(光南小)